

平成28年度 第5回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成28年8月19日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所在地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後4時10分

○ 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員（委員長）	深田 勇
	委員（委員長職務代理者）	中川 茂
	委員	宮嶋 珠美
	委員	佐伯 和亜
	委員（教育長）	石高 雅信

欠席委員 なし

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎
	教育総務課長	和藤 達也
	教育総務課参事（企画係長）	午菴 晴喜
	こども教育課長	能登 琢也
	こども教育課参事（教育研修センター・こども支援センター所長）	鳥居 保
	こども育成課長	福富 省吾
	教育総務課参事（課長補佐）	正木 一郎
	教育総務課教育総務係長	向原 芳江

事務局以外 地域コミュニティ振興部

コミュニティ政策課参事（公民館担当）真島 利之

生涯学習課長 井上 貢

生涯学習課主幹（図書館長）藤原 孝行

生涯学習課図書館主査 奥 久美

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

宮嶋 珠美 委員

第2 前回の会議録の承認

平成28年7月21日（木）開催 第4回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

- (1) 図書館未来プラン策定に向けた市民アンケートの結果について
- (2) 図書館未来シンポジウムの開催について

第5 議事

- 議案第16号 豊岡市地域コミュニティに関する条例制定に関する意見について
【非公開案件】
- 議案第17号 豊岡市立多目的集会施設の設置及び管理に関する条例及び豊岡市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見について
【非公開案件】
- 議案第18号 豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見について
【非公開案件】
- 議案第19号 平成28年度9月補正教育関係予算案に関する意見について【非公開案件】
- 議案第20号 寄附物件の申出について（2件）
- 報告第6号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
- 報告第7号 豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について

第6 協議事項

- 1 とよおか教育プラン平成28年度実践計画の検証について

第7 教育委員会事務局の報告

1 こども教育課

- (1) 学校園の運動会、体育祭の訪問について
- (2) 2学期以降の学校園訪問について
- (3) 全国学力・学習状況調査結果の公表を受けての取組について
- (4) 豊岡市こども支援センターの活動報告等について

2 こども育成課

- (1) 豊岡市子ども・子育て会議委員の交代について
- (2) 小規模保育事業について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

○ 会議の概要

開会 午後1時30分

(深田委員長)

ただいまから平成28年度第5回定例教育委員会会議を開催いたします。本日は教育委員全員が出席しておりますので、会議の定足数を満たしております。会議が成立していることをまず報告させていただきます。

それでは、事前に配付されております次第に従いまして会議を進めさせていただきます。

[日程 第1 会議録署名委員の指名]

(深田委員長)

日程第1「会議録の署名委員の指名」です。本日は宮嶋委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

[日程 第2 前回の会議録の承認]

(深田委員長)

日程第2「前回の会議録の承認」です。平成28年7月21日に開催いたしました第4回定例会の会議録について、委員の方々の承認をお願いいたします。事前に配付をしておりますので確認をいただいていると思います。誤った点、修正などなかったでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

「なし」の声がありましたので、会議録につきましては承認するという事に決定をいたしました。

[日程 第3 教育長の報告]

(深田委員長)

日程第3「教育長の報告」に移ります。それでは教育長、報告をよろしく願いいたします。

《教育長の報告概要》

7月21日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育活動の概要

* 中学校部活動激励訪問について

7月22日に中学校を訪問し、部活動で但馬大会を勝ち上がり、県大会に出場する生徒たちを激励した。

また、本日は日高東中学校を訪問して、全国大会に出場する生徒たちを激励してきた。

* 学校長及び教頭候補者選考試験について

7月25日、26日と学校長・教頭候補者選考の試験を行った。従来、管理職の選考試験は、ペ

ーパー試験と同時に面接試験を行ってきた。私たちは先生方の指導力・授業力の向上に向けてしっかりと指導できる管理職が欲しいという思いを常日頃持っているので、今回の選考試験においては15分間の授業のビデオを見て、それに対して討議するという試験を行っている。

昨年までの面接試験に比べて、今回の試験は非常に採点がしやすかった。普段からやっていない先生はやはりものが言えない、中身が薄い、そういった結果が出ている。しっかりと授業を見て授業を指導できる方が管理職になることが、豊岡の教育力の向上に繋がるのではないかと思うので、今後ともこういった視点での選考試験を行っていきたいと思っている。

＊国際交流体験学習団帰国報告について

7月26日に国際交流体験学習団の帰国報告があった。今まで韓国へは両国が夏休みに入った時に訪問していたのだが、今回は両国とも夏季休業日に入る前に訪問したので、韓国を訪問した子どもたちが実際に東川の初等学校で給食を食べさせてもらえた、実際の授業にも参加したということで、今までの訪問よりも中身のある本当の交流ができたのではないかと思う。そういった視点で日程の組み方についても再度検討していきながら国際交流体験学習団の派遣をしていきたい。

＊英語教育基礎研究講座について

7月28日に英語教育基礎研究講座が開かれ、午前・午後と先生方の研修状況を参観した。特に感心したのは、英語教育の推進教員の方々が中心となって一生懸命動いて研修会を回しておられたこと。今後こういった研修会を重ねていく中で、豊岡の英語教育が十分その機能を発揮するのではないかと思っている。

＊夕涼みコンサートについて

8月3日に、豊岡北中学校吹奏楽部「夕涼みコンサート」が市役所前広場であった。夕涼みコンサートは今年で3回目になるが、少しずつこの取組が定着してきたかなと思う。これからは中学校だけでなく、さらに高等学校にも広げて、市民の皆様に子どもたちが頑張っている様子を見ていただく機会を今後とも作っていく必要があると思っている。

(深田委員長)

この間の教育長の活動の主だったところについて説明をいただきましたけれども、何か今の教育長報告に対して質問ありますでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

では質問もありませんので、教育長報告を以上で終了させていただきます。

[日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告]

(深田委員長)

日程第4「地域コミュニティ振興部の報告」に入ります。生涯学習課より報告を受けたいと思います。

1 生涯学習課

《生涯学習課長の報告概要》

図書館未来シンポジウムの関係については6月の定例会で案内したところである。その際に委員から教育委員会会議で市民アンケートの概要を示してほしいという意見をいただいていた。今回、図書館職員からアンケート並びにシンポジウムの概要について改めて説明させていただく。

《生涯学習課図書館主査の報告概要》

(1) 図書館未来プラン策定に向けた市民アンケートの結果について

調査概要について、調査期間は平成28年5月12日・木曜日から5月30日・月曜日の間。調査対象者は、市の人口構成比率に合わせ、豊岡市在住の18歳以上の男女2,000人を居住地・性別・年齢を考慮した層化多段確率比例抽出という方法で抽出し、郵送調査した。有効回収数は805人、回収率は40.3%であった。

図書館の利用状況、資料・情報の入手方法が結果の中からわかった。回答者のうち、図書館を利用している人は35.7%であった。本や雑誌の入手方法としては購入している人が圧倒的に多く、書店で購入している人が72.9%、インターネットでの購入も行えるので圧倒的に購入をされている方が多いという実態である。図書館で借りているという方は全体の中で24.1%であった。また、調べ物の手段として、インターネットの検索が多く、全体では61.5%だが、40歳代までの方については90%以上。図書館を利用してみようと思われる方が15.2%であった。市民の意識としては、本が必要ななら買う、調べ物をするならまずインターネットというのが主流である。

これからの図書館について期待することを聞いている。『どのような場所であってほしいか』という問いに対しては、「静かに本や雑誌を読む場所」60.4%、「集中して調べ物ができる場所」45.0%、「くつろげる場所」44.2%であった。これは複数回答可能なので、合計が100%になるというものではない。『施設面・設備面への希望』については、「駐車場の拡充」が大変多かった。特に豊岡本館の駐車場を広くしてほしいとか、駐車場から本館までの入り方が難しいというような意見があった。また、「インターネットが利用できる環境を整えてほしい」、「飲食ができる場所があったら良いのではないか」という意見もあった。『図書館で優先的に行ったほうがよいと思われるサービス』という問いの中で多かったのは「図書館外に貸出・返却できる場所がある」が1番多く、続いて「資料の充実」、「高齢者向けのサービス」、「健康・医療情報サービス」、「開館日数や開館時間帯の拡大」というように続いた。

以上のような中で今後の図書館のあり方の傾向が少しずつ見られた。1つ目は多様なニーズへの対応。『どのような場所であってほしいか』ということでも、静かな環境を保ってほしい・集中して調べ物がしたいという意見、一方では利用者同士の交流がしたいとか、親子で読み聞かせができたり、子ども連れで来た時にうるさいと言われない場所、という意見もあり、それぞれがゾーニングですみわけができるような場所としていかななくてはいけないのではないかと考えている。また、開館日・開館時間の検討も必要で、自由記載でいろんな意見があった。『施設の充実』という点では、駐車場・インターネットの環境、飲食ができたらありがたいという意見がたくさんあった。長時間滞在される方も増えているので、そのあたりも考えていかなければいけない。

2点目は高齢者層への対応。これは『優先的に行ったほうが良いサービス』の中で「図書

館外に貸出・返却できる場所がある」が1番多かったが、高齢者の方は「行く交通手段がない」とか「家から遠くて行けない」などの意見がたくさんあったので、このあたりを考えていかなければいけない。

3点目は子育て層への対応。今回のアンケートの中で20代～40代で子どものいる層を特に取り上げて抽出しているが、その層については全体的に関心が高い。本も買うけれどもインターネットで情報を得たりと、多くの情報を得ようとしていることが見受けられた。また自分の本を借りるだけではなく、家族のために本を借りて帰るという実態もあったし、時間がないので比較的滞在時間も短い、あらかじめインターネットで本の予約をして効率的に利用している方を見受けられた。児童サービスについては図書館の中でも重点的なサービスであり、子どもの読書活動を推進する上でも、この層への働きかけを大事にしていきたいと思っている。

4点目は「困ったら図書館へ」という意識を根付かせる。広報・情報提供の徹底ということだが、自由記載「情報をもっと知らせてほしい」という声がたくさんあった。お知らせはしてはいるが、きちんと届いていない、思っている以上に通じていないということなので、方法を検討していかなければいけないと感じた。貸出中の本があれば、予約をして順番が来たら連絡がもらえることや、豊岡市の図書館にない本については他の市町や県立図書館から借りて対応ができることなどの基本的なサービスがあるのだが、そういったことを全くご存じない方がたくさんおられるので、こんな使い方ができるのだということもしっかりと伝えていかなければならないと感じた。

《生涯学習課主幹（図書館長）の報告概要》

(2) 図書館未来シンポジウムの開催について

前回の定例会で概要等は説明しているので、それ以降決まったことについて報告する。内容について、市民アンケートの分析報告として、大学の専門の先生から、新たなクロス集計も含めてフラットな見解から説明・分析の結果を報告していただく予定である。

合わせて、図書館が目指すべき方向ということで、現在検討会議という組織で検討している内容について、「方向としてこういうことで検討しますよ」ということも示して、パネルディスカッションの中の1つの題材としていきたい。

パネルディスカッションは、パネリストの4人が最終決定した。コーディネーターは桃山学院大学の山本教授にお願いしている。

当日は参加無料だが、入場には入場整理券を用意しており、それを事前にお求めいただくことにしている。

今後のことだが、9月25日のシンポジウムを踏まえて、早速10月に第6回目の検討会議を開催して、最終的に未来プランということで10年後の図書館の姿をまとめ上げていきたいと予定している。今までの考え方は、電子図書であったり、インターネットで本が翌日に届く、あるいはカフェなど、目新しいことを求めていくような傾向であったが、「ちょっと待てよ、もう一度事業を再確認した上で本当に今豊岡でやっている事業は必要な事業なのか、あるいはこれは全国的に見てもこれからもずっと続けていかなければいけない事業なのか」ということを検討会議の中でも淘汰してきた。その結果を未来プランとして、これまでやってきたことが全てダメではなくて、新しい見方をすればこんな効果が出るのではないか、あるい

は新しい考え方に基づいて今の事業をもう一度見直してみようという考え方で今議論を進めている。もちろんこのシンポジウムの議論、会場からの皆さんの意見も聞いた上で、6回目そして7回目まで検討会議を予定しているので、その中で最終的に未来プランとしてまとめ上げていきたいと考えている。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(中川委員)

今回の市民アンケートは、市民の声が聞けてよかったと思う。できれば去年ぐらいにこれやっていたらもっと楽だったんだろうと思うが、これを基にこれからの方向性がなんとなく事務局も見えてきたような気がしていると思う。そうは言いながら、先ほど説明があったように、『どのような場所であってほしいか』という質問に対し、相反する回答があるのでその辺をどのように折り合いをつけるのかというあたりが課題かなと思う。あと職員の対応がどうなのかというのは私も少し気になっていたのだが、それはアンケート結果の一番最後のほうで、実際図書館を利用されている方の9割が職員の対応に基本的には満足しているということで、これは職員も頑張っているんだなということで安心した。引き続き頑張ってもらいたいと思うのと、他市町の施設とのネットワークのPRについてもアンケートから出てきた市民の声でもあると思う。やり方は色々あると思うので、もっとPRしてほしい。

(石高教育長)

このアンケートの結果と今度のシンポジウムのパネリストとの議論や、その後の検討会議の結果と整合性をどう取ってくるのか。アンケートの結果を無視したのなら何のためにアンケートをしたんだということにもなりかねない。その辺りの調整をどう図っていくのか非常に難しい問題かなと思う。このアンケートの重みもしっかりと頭に入れながらぜひ検討をお願いしたい。

(中川委員)

特に駐車場の確保というのは絶対必要なものなので、早めにそのあたりを考える必要があると思う。

(生涯学習課長)

十分踏まえてやっていきたい。

(深田委員長)

アンケート結果から、図書館というのは市民にとって必要な施設として認知されているんだという前提に立ってサービスをしていかなければいけない。駐車場のことや、アンケート結果を踏まえてそれにどう対処していくのかという意見もそうだが、より結果が可視化できるというのか、目に見えて変わったというようなことが必要ではないかこのアンケート結果の説明を聞いて感じた。それと同時に時代は変わるんだなと思った。図書館というのは私たちの時代は「物を食べたりしたらあかん」というようなイメージだったが、そういう時代ではないのですね。

(生涯学習課長)

参考までに、いろんな図書館を見学したが、ほとんど飲食のスペースを持っている。ゾーニングして、図書館は既にいろんな方の居場所になっている。単に図書館機能だけを利用している方ばかりではないということである。

(佐伯委員)

このアンケートは郵送調査で、回答されている中で利用されている方は35.7%ということだが、「図書館の今後をこのように期待する」とか、「もっとこうあってほしい」という意見は実際に図書館を利用している人に、任意で改めてアンケートするという予定はないのか。

(生涯学習課図書館主査)

任意のアンケートを館内のカウンターで調査票を渡して行っている。まだ集計ができていないので、今日は報告できなかった。

(佐伯委員)

それならいいと思う。やはり実際に利用している方たちの声を多数取り上げたほうがいろんな意見が出てきて良いと思う。

(深田委員長)

それではコミュニティ振興部の報告は以上で終了をさせていただきたいと思います。

[日程 第5 議事]

(深田委員長)

日程第5「議事」に入らせていただきます。それでは本日の議事に移りますけれども、議案第16号から議案第19号につきましては、この後議会に議案として提出され、また議決されるべき事項でありますので、改正前の豊岡市教育委員会会議規則第18条第1項の規定に基づき、非公開としてよろしいでしょうか。出席委員の方々の了解を得たいと思います。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

出席委員の方々の了解が得られましたので、非公開とさせていただきます。

本日は傍聴の方がいらっしゃいませんので、このまま審議を続けさせていただきます。

○議案第16号 豊岡市地域コミュニティに関する条例制定に関する意見について

【非公開会議】

《 新しい地域コミュニティ組織と市の協働に関する事項並びに豊岡市立コミュニティセンターの設置及び管理に関する事項を定めるため、条例を制定することについて、コミュニティ政策課参事が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。》

○議案第17号 豊岡市立多目的集会施設の設置及び管理に関する条例及び豊岡市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見について

【非公開会議】

《 西気地区公民館及び竹野南地区公民館の新築移転に伴い、施設の位置及び使用料を改めるとともに、西気地区コミュニティセンターを廃止するため、条例の一部を改正することにつ

いて、コミュニティ政策課参事が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。≫

○議案第18号 豊岡市立放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定に関する意見について

【非公開会議】

≪ 放課後児童クラブについて、施設利用者の利便性の向上及び施設老朽化に伴う施設変更を行うため、条例の一部を改正することについて、こども育成課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。≫

○議案第19号 平成28年度9月補正教育関係予算案に関する意見について

【非公開会議】

≪ 平成28年第3回市議会定例会に提案する補正教育関係予算案について、各担当課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。≫

(深田委員長)

非公開審議につきましてはここまでということになっております。ここからは公開として審議をさせていただきます。

それでは議案第20号「寄附物件の申出について」を議題といたします。事務局、説明をよろしくお願いします。

○議案第20号 寄附物件の申出について

≪教育総務課長の説明概要≫

資料のとおり、個人から2件の寄附物件の申出があったので、これを受納することについて審議をお願いしたい。

(深田委員長)

説明は終わりました。質疑はありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

では質疑打ち切ります。討論に入ります。討論ありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

討論打ち切ります。ではお諮りいたします。本案については原案のとおり、受納を承認するということに決定をしてご異議ありませんか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

「異議なし」の声がありますので異議なしと認めます。議案第20号につきましては原案のとおり受納を承認するという事に決定をいたしました。

続きまして、報告第6号「豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について」報告をよろしくお願ひいたします。

○報告第6号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《こども育成課長の報告概要》

市の補助金「豊岡市私立認定こども園振興事業補助金」で、このとり認定こども園に対して通園バス等の運行経費の補助金を支出している。対象者のところに「学校法人近畿大学弘徳学園このとり認定こども園」という表記をしていたが法人名の変更により、「学校法人弘徳学園このとり認定こども園」に改めるもの。

(深田委員長)

説明は終わりました。何か質問・意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

では質問・意見打ち切りをさせていただきます。報告第6号につきましてはこのように要綱の一部が改正されたということですのでご承知おきください。

続きまして、報告第7号「豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について」報告を求めます。

○報告第7号 豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則制定について

《こども育成課長の報告概要》

この規則は、保育所・認定こども園・幼稚園の保育料を定める規則である。

「市立幼稚園」という表記にしている箇所について、幼稚園についても保育所と同様に市町村間の広域入園の対応を取る必要があり、他市町で町立・村立という幼稚園が出てくるので、「市立」から「公立」に改めるもの。

また、国の子ども・子育て支援法施行規則あるいは子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、条項の定めを改めるもの。

平成28年度から国が多子世帯の保育料の軽減事業の拡充をするということになり、年収360万円

未満の多子世帯・要保護家庭・ひとり親世帯・身体障害者のおられる世帯等の保育料の軽減を図るために改正をするもの。

なお、この規則の施行については公布の日から施行することとし、保育料の軽減事業については平成28年4月1日まで遡って適用することとする。

(深田委員長)

説明は終わりました。何か質問・意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

説明を聞いていても大変複雑でよく変わるのだなという思いしかないのですけれども、くれぐれも計算間違いがあったとかいうことの無いように念には念を入れて処理をしていただきたいと思えます。

では報告第7号につきましてはこのように一部規則が改正されるということですのでご承知おきください。

これで議事はすべて終了いたしました。ここで暫時休憩に入りたいと思えます。

————— 休憩 —————

(深田委員長)

休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

[日程 第6 協議事項]

(深田委員長)

日程第6「協議事項」に移らせていただきます。とよおか教育プラン平成28年度実践計画の検証についての協議をお願いしたいと思います。まず事務局、提案説明をお願いいたします。

1 とよおか教育プラン平成28年度実践計画の検証について

《教育総務課参事（企画係長）の説明概要》

とよおか教育プラン平成28年度実践計画の検証について、本日の協議は昨年度の反省に基づき、とよおか教育プラン実践計画の検証の過程において教育委員の方々との意見交換の機会を新たに設けようとするもの。

とよおか教育プラン実践計画の検証については、2つの流れがある。1つ目は、年度の途中で検証を行い、その結果を踏まえ次年度の実践計画書を作成するもの。2つ目は、年度途中の検証及び年度末の担当課検証等を踏まえ、その結果を当該年度の教育委員会の点検・報告としていくもの。本日は特にこの2つ目の流れに関して、年2回教育委員の方々との意見交換の機会、いわゆる教育委員協議会を設けることについて協議をお願いしたい。

具体的には、1回目は年度途中の担当課検証が終わった後、外部の検証委員会までの間。2回目は年度末の担当課検証が完了した後、外部の検証委員会までの間ということで、それぞれ

特に担当課の検証した結果について意見を頂戴したいと考えている。2回とも、日程的にも限られた期間での設定となるが、よろしくお願ひしたい。

また、今回、評価記号の見直し、外部検証委員に頂戴する意見に対する回答の方法についても、併せて改めることを考えている。これらの課題については既に担当課課長と意見交換を行っているが、特に評価記号等について現在のところ結論に至っていない。更なる協議により、事務局にて可能な集約、簡素化を行い、検証を進めていきたいと考えているのでその点についてもご了承いただきたい。

教育委員協議会の日程については、9月の下旬頃と翌年5月の下旬頃で、計2回の意見交換の場を持たせていただければと考えている。

(深田委員長)

提案説明をいただきました。では、協議事項ですので各委員のご意見をお聞かせいただければと思います。どなたからでも結構ですのでよろしくお願ひします。

(中川委員)

我々の意見が反映できる機会を確保しようということで、これはありがたいことだと思います。基本的にはこれで良いと思います。

(深田委員長)

前回の定例会でも話をしましたが、一応この評価のところには教育委員としての評価が何らかの形で入らなければ説明責任は果たせないのではないかと考えておりました、そういう意味ではどこかの機会で私たちの意見なりを聴取する場というのは必要でそれが協議会であるわけですので、2回が多いか少ないかは分かりませんが、提案のように協議会を設けるということは絶対必要なことであると思います。実践計画を立てる時にも協議会をやってこちらからいろいろと意見を述べさせていただいて、それが提案という形になるかならないかは別にしても、事前に提示していただいで私たち自身がそれについてどういう動きでどういう形でそれをサポートしていかねばならないのかということではできると思いますので、検証委員会の流れの中で協議会を設けていただくということには大賛成です。ある意味では教育委員の方々にはご負担をお掛けすることになるかもしれませんが、これはやっていかねばならないことだろうと思いますので、こういう提案をいただいでほっとしているところもあります。

(中川委員)

一方で、中間でも最終でも良いのだけれど、皆忙しいのは分かるが、提案内容は、事務局内部で充分調整したものを上げてほしいです。

(深田委員長)

あと何かありますか。

他の委員の方々、全ては言い尽くされていないかもしれませんが、このような思いも反映できていくのではないかと思います。

それでは、この件につきましてはこれで打ち切りをさせていただいてよろしいですか。

(委員)

はい。

(深田委員長)

では協議事項、以上で終了させていただきます。

[日程 第7 教育委員会事務局の報告]

(深田委員長)

日程第7「教育委員会事務局からの報告」に移ります。まずこども教育課からの報告を受けたいと思います。

1 こども教育課

《こども教育課長の報告概要》

(1) 学校園の運動会、体育祭の訪問について

資料に学校園の運動会、体育祭の訪問計画を記載している。2学期始めの大きな子どもたちの活躍の場面ということになる。ご臨席いただき激励をお願いしたい。その際気付かれたことや何か改善したほうが良いと思われることがあれば、参考にさせていただくため、感想を集約させていただきたい。用紙を机上に配付しているので、ご記入いただき、事務局まで提出していただきたい。

(2) 2学期以降の学校園訪問について

2学期以降の学校園訪問について、資料に日程一覧を添付している。これも大変お世話になるが、一応予定として出席者の割当をしているのでよろしくをお願いしたい。

(深田委員長)

報告は終わりました。何か質問等ありますでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

運動会・体育祭、学校園訪問につきまして、不都合なところ等ありましたら委員の方々に調整していただき、事務局に報告をするようお願いいたします。

《こども教育課参事の報告概要》

(3) 全国学力・学習状況調査結果の公表を受けての取組について

本日の次第に、当日配付資料としているが、資料は本日はない。と言うのは新聞報道で今朝報道されていたが、本年度は全国学力・学習状況調査の結果が8月下旬ではなくて8月17日に教育委員会へ送付されてきた。翌18日には各学校に送付された。学力・学習状況調査は

各教科の調査と児童生徒質問紙、それから学校への質問紙という3種類から構成されている。その中で、中学校の学校質問紙の集計対象のうち、32都道府県に渡る合計81校分が未集計だということが分かり、結果公表を延期することが文部科学省から通知された。よって本日お知らせをしたかったのだが、できないことを報告させていただく。

(4) 豊岡市子ども支援センターの活動報告等について

前回・前々回から子ども支援センターの機能充実について今年度整い始めていることについて2点お知らせをしている。1点目はシステムの件で、システムは2つあり、早期発見システムと情報共有システムについて教育次長の指示を受けながら整える準備を進めている。もう1点は組織体制の見直しで、これも教育次長に関係部課との調整をしていただきながら進めている最中である。

(深田委員長)

何か今の説明に対しての質問・意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

システム作りにつきましては十分この後もそのシステムが動いて活用されていくことになるかと思っておりますので、なるべく早く完成していただければと思います。

では、子ども教育課報告、以上で終わらせていただきます。
続きまして、子ども育成課より報告を受けたいと思います。

2 子ども育成課

《子ども育成課長の報告概要》

(1) 豊岡市子ども・子育て会議委員の交代について

子ども・子育て会議の委員に変更があったので報告する。委員は18名だが、主にPTAと保育園等の保護者会から選出いただいている委員について、各母体から選出の変更があったので、それぞれ資料に記載の方に変更する。また、豊岡市社会福祉協議会から理事の立場の方が委員に就任していただいているが、理事の交代があった。合計5名の委員が変更となった。

(2) 小規模保育事業について

平成25年度から4年続けて待機児童が生じている。平成27年度4月は待機児童なしでスタートできたが、昨年10月には14名の待機児童が発生した。昨年10月1日時点の14人の待機児童の内の4人が竹野地域の子どもで、それ以外は各年度すべて豊岡地域の子どもである。豊岡地域の出生数が他の地域と比べてあまり落ちていない。特に0歳児の利用が豊岡地域で急速に増えている。平成24年度豊岡地域で0歳児の保育所利用が58名であったものが、平成28年度96名の申し込みを受けて、38名増えている。ここに一番大きな待機児童が発生する要因があると見ている。また豊岡地域の保育所に入ることを希望されていたが年度当初の入所

調整ができずにやむなく日高・出石地域の保育所に入所した方も平成27・28年度に19名・21名ということで、待機児童の数以外にも豊岡地域の保育園に入れられないという子どもがいる。

小規模保育事業は平成27年度に始まった「子ども・子育て支援新制度」の中で市町村の認可事業ということで地域型保育事業という国の位置付けになっているが、新たに制度化されたものである。0～2歳児を対象とした多様な保育ニーズに対応して、定員6名～19名の少人数で家庭的な雰囲気の中できめ細やかな保育が提供できるという制度である。主に都市部において市街地の賃貸物件のビルやマンションの一室などを活用し、既存のストックを活用して機動的に市街地で展開しやすい事業ということで、今年の4月1日現在では全国で2,500箇所の小規模保育事業が認可されている状況になっていると聞いている。財政支援の仕組みは、認可保育所と同様に運営費の助成を受けられる制度になっており、都市部で待機児童対策に有効な事業ということで積極的に展開をされているものである。豊岡市では、4年間豊岡地域で待機児童が発生をしているので、早期解消を図るために、主に0～2歳児の保育の受け皿を増やしたいということで展開をしていきたい。ちなみに現在の豊岡地域の既存の認可保育所の0歳児の施設入所定員は95名で、今年度96名の申し込みがあったので、施設的にも0歳児の受け入れが困難な状況が生じているところである。

認可保育所と小規模保育事業の大きな違いは、小規模保育事業はA型からC型の3つの類型があり、主に職員の配置基準が違う。認可保育所と小規模保育事業のA型は保育に従事する職員は保育士の資格を求める。B型は半数以上が保育士の資格者。C型は県等が実施をする家庭的保育者の研修を受講した者が保育に従事することができるということで、この職員の配置基準が一番大きく違う部分である。やはり保育の質を確保することが必要だと考えているので、豊岡市においては認可保育所に形態に近い小規模保育事業のA型で展開していきたいと思っている。

展開の地域については、待機児童はほとんどが豊岡地域で発生しているので、豊岡・五荘・八条小学校区の市街地。新田・神美地区あたりも、市立東保育園から民間園に移行したアートチャイルドケア保育園がほぼ限界に近い状態になっているので、場合によってはそちらの地域での展開も必要になってくるかと思っている。

全体事業費は、施設改修の補助金については、国が1/2、市が1/4である。仮に定員19人で0歳が5人、1・2歳児が14人というような想定をすると年間運営費は地域型保育給付で約3,200万円。国が1/2、県が1/2、市が1/4を負担するという制度になっている。なお、この3,200万円については、市の規則に基づいた保育料を事業者が徴収することになり、それを差し引いた金額を市が負担していくことになる。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の回答・説明概要》

(石高教育長)

現状も制度もわかった。いつから実施するのか。

(こども育成課長)

認可の基準は国の家庭的保育事業等に関する設備および運営に関する基準が定められており、それに基づいて市が条例を定めるということになっているが、平成26年度に条例は制定している。

ただ、子ども・子育て支援事業計画の中で今後の保育ニーズの動向を見ながら小規模保育事業の展開を考えていたので補完的な位置付けにしていたが、4年続けて待機児童が発生したという

ことで機動的に対応できる小規模保育事業を展開したいと考えている。現在条例で定めている認可基準、それから実際にこれから運営事業者の募集もしていかなければならないと考えているので、認可に伴う実施要綱を作成をしている最中である。実施要綱の作成、認可についての取り扱い、運営事業者の選定・審査等も手続きが整備できしだい募集にかかりたいと考えている。

(深田委員長)

平成29年度から始めようという計画なのか。

(こども育成課長)

施設改修が伴ってくる場合があるのでそれが間に合わないということも想定される。平成29年度以降で認可基準を満たした運営事業者について認可をしていきたいと考えている。

(石高教育長)

この認可事務はこども育成課がするのか。そうだとしたら、今の体制で十分できるのか。

(こども育成課長)

その辺のことも含めて体制を整えなければならないと思っている。認可した後も指導の権限が市となるので認可後の指導体制も考えなければいけない状況になっている。そのことについては人員の増員が必要ということであれば、職員課と協議をして人の配置も含めて考えていきたい。

(石高教育長)

認可事務ができる体制。作りっ放しではなく指導できる体制。そういったものをしっかりと整えて行っていかなければ、ただ待機児童を解消するのだということだけでうかつに性急にとりかかると後が大変なことになる。

(中川委員)

財政負担は1/4で、びっくりするような額ではないが、今言われたように事務量が膨大になる。

(教育次長)

事務量が多ければ、1つ係を作らないといけないことになるかもしれない。

(中川委員)

事業者はどうなのか。いくつかこれから名乗りをあげるようなところが出てきそうなのか。

(こども育成課長)

都市部は認可外保育所がたくさんあるのでそこから移行されたり、あるいは民間保育所が施設的に受け入れがいっぱいになっているので分園という形で運営をされているところがある。たまたまチャイルドハウス保育園の豊友会が神戸に村雨保育園を平成26年に設置されているが、早くも2年で受け入れがいっぱいになり、すぐ隣の建物に12人定員の分園ということで小規模保育事業を展開されている例もある。保育の質の確保や、0～2歳が対象なので3歳になった後の受け皿を連携施設として確保する必要があるので、できれば市内の認可保育所が分園という形で展開していただくのが一番展開しやすいとは思っている。保育士の確保の問題もあるので、市内の認可保育所に働きかけが必要だと思う。どうしても確保できないということであれば市外、広く募集をかけるということも考えないといけない。

(石高教育長)

待機児童の解消も大きな目標。それと同時に質を落とさないということ。質が悪くてもとにかく作ればよいということになったら、後で大変なことになる。それをよく考えておくように。

(中川委員)

これからは「保育園から英語教育も」と言っている地域だから、数が増えてきたらこちらのほうの対応も出てくる。

(深田委員長)

最近でこそテレビなどであまりニュースになっておりませんが、以前はいろいろと事故が多いのもこういう施設でしたので、そういうことを心配されているのだらうと思います。充分その辺の漏れのないような体制でしっかりと事業を進めていってほしいという思いを私たちも持っておりますので、よろしくお願いします。

では、教育委員会事務局からの報告については以上で終了させていただきます。

[日程 第8 委員活動報告]

(深田委員長)

日程第8「委員活動報告」に移らせていただきます。お気付きの点、またこの間活動されて感じられた事等について感想という形で結構ですので、お聞かせいただければと思います。

どなた様からでも結構ですのでよろしくお願いします。

《各委員の報告概要及び事務局の説明概要》

(宮嶋委員)

こども育成課主催の研修会、子ども理解講座と修養講座に参加した。こども支援センターの臨床心理士の話は、小学校入学前の子どもの身体的な発達について、私が聞いてもとても参考になるような話だった。もう1つ、豊岡短期大学の宿南教授の講演は、「保育者の眼差しが子どもを育てる」という話を自分の経験から話されて、とても分かりやすく、聴いておられる方も納得できる内容だった。その中で特に私が印象に残ったのが「保育室の穏やかさが子どもに伝わる。そのためには先生方自身が感動する心を持つ。それが大切だ」ということ。また園作りという点で話され、「先生同士が本気で話せる園、自分も仲間も育つ園、若い人の意見が言える園。」これを聞いて、これは保育園・保育士だけの話ではなく、小学校も中学校もお互いが言い合える職員室というのが理想だろうなと思った。また、「子育てが楽しいと思える親育てが今の保育者の仕事だ」、「今の保護者は余裕がないような方が多いと思うが、その保護者も育ててあげる保育士になってほしい」と言っておられた。どちらの講座もたくさん参加されていて、真剣に聞いておられる先生方にとっても感心した。聴かれた内容を園に持ち帰って、その園でいっぱい話をして良い園にしていただきたいと思った。事務局の担当者に聞いたら、私立園にも案内は出しているとのことであったが、参加者は公立園の方が多かった。とても良い話なので私立園の先生にも聴いていただきたいと思った。

昨日、中学校生徒会リーダー研修会と教育フォーラムに参加した。リーダー研修会は4年前に我が子も参加させてもらい、帰ってきたときに「大変だったけど良い経験をした」と言っていた。昨日参加されていた生徒会の皆さんも良い経験をされたのではないかなと思う。今回は豊岡北中学校の生徒が担当していたが、進め方等上手くされているなと思った。

教育フォーラムは、去年より質問が多くて先生方の意気込みが凄いなと感心した。その発表の

中で若い先生が「先輩の先生から助言をもらっている」と言われていた。その学校の職員室の雰囲気伝わってくるようだった。その学校は以前、学校訪問した学校だったので、今日資料を読み返したら、その記録の中に学校の目標として「組織力・チーム〇〇」と書いてあった。そういう学校の先生は幸せだな、そういう先生に教えていただいている子どもたちも幸せだなと思った。とても参考になった教育フォーラムだった。

(佐伯委員)

8月4日に私の住んでいる地区の一斉ラジオ体操に行った。そこは小学生だけで100人超えている地区なので、豊岡の中で一番大きな地区だと思うのだが、小学生はもちろんたくさん来ていたし、保護者とか地域の見回り隊の方たち、おじいさんもおばあさんも来られていた。その中で中学生たちが、たぶん部活動前だと思うが、体操服を着て10人ぐらい参加していた。「今日は一斉ラジオ体操だから参加しているのかな」と思いその日は終わったが、その後数回行ってその体操服の生徒たちは私が行った日はずっと参加していたので、たぶん毎日来ているのだろう。小学生の時には義務的に参加している子が多いと思うのだが、こんなふうにも中学生になっても自発的に参加できる地域の活動というのは良いなと。これが顔と顔が繋がるきっかけの活動の1つになるんだなと嬉しく思った。

運動会の時期になります。これから運動会の練習が始まって熱中症の危険が出てくる季節になるので、「水分補給や塩分補給もしましょう」ということはラジオでも伝えていきたいと思っている。怪我や病気・事故などのないように祈っている。

(深田委員長)

一斉ラジオ体操・顔見知り運動にいくつか行ったが、地域によって全然人の集まりが違うんだなと感じた。これは1つは、地域がどのような知らせ方をしているかにもよるのだろうと思うが、1ヶ所はお年寄りの方はほとんど出てこないというところ、もう1ヶ所はお年寄りの方も多くて人数が多く見られた。少し聞くと、老人会に校長先生から「また頼むわ」というような話があり会員にお知らせしたということであった。年をとったらもう出なくてもいいんだと思っておられる節もあるのかなと感じたので、もう少しいろいろとアピールの仕方を工夫していかないといけないのかなと感じた。

研修会にいろいろと参加して感じたことは、学校というのはいろいろな意味で専門職の方々が学校の中に入られて、例えばスクールカウンセラー・ソーシャルワーカーのような形でチームとして学校が動いていけない時代になっていると思う。そういう時代であればあるほど、管理職の立場と授業を通して教えていく教諭の立場とはまた違うものがあるんだろうと思うが、そういう意味では今はまさしく「チーム学校」でどうやって子どもの学力や生きる力を作っていくかというのが問われている時代だろうと思っている。一方で、そうなる、知識をただ教えるだけの先生はほとんどいないと思うが、人工知能が進んでいく中で、人工知能で十分代替ができるような時代になっているのだから、本来の先生らしい先生というのが必要である。一言で言うと、林竹二先生が「パンを欲している子どもに石を与えているような教師ではいけない」というような事を言っておられるが、教師自身が子どもにとって何をきちんと教えていくのか、与えていくのかというのをしっかりと見極めが付けられるような先生になっていかないといけない。そういう人が今から必要になっていくんだと感じた。そういう意味では昨日の教育フォーラムのよ

うな研修は意義が大きいと思う。だから年に1回でも良いから、方法論も大事だが、あのような基本的なところにもう1回立ち返るといふ研修が重要なんだといろいろな研修会に参加して感じた。

(深田委員長)

では委員活動の報告については以上で終わらせていただきます。

[日程 第9 教育委員会活動予定]

(深田委員長)

日程第9「教育委員会活動予定」について事務局、説明をお願いいたします。

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

1 次回教育委員会会議の日程について

次回、第6回教育委員会会議の日程は、9月27日・火曜日の13時30分から、移動教育委員会で但東庁舎の2階大会議室で開催する。会議終了後に、但東中学校の修学旅行での取組の話をお聴きし、学習会を1時間程度で開催するので、予定をお願いしたい。

10月開催の第7回定例会も移動教育委員会になる。午後1時30分から開会予定だが、場所は未定。開催希望日は第1希望は10月24日・月曜日、第2希望が10月21日・金曜日。開催場所も、この地域の学校のこんなことが聴きたいという希望があれば調整したいと思うので、この場で聞かせたい。

＜ 各委員の都合を確認し、第7回定例会は10月24日・月曜日の午後1時30分から開催することに決定した。開催場所は、後日事務局で決定することで委員の了承を得た。＞

2 今後の活動・行事予定

今後の活動・行事予定は資料に記載のとおりである。9月に入ると体育祭・運動会・市議会が始まり、月末から学校訪問も入ってくる。体育祭・運動会・学校訪問の割当を確認いただき、変更が必要であれば委員同士で調整していただき、事務局に報告をお願いしたい。また、後程議会の出席者も決めていただきたい。

(深田委員長)

また議会の日程については後で調整をしたいと思います。

以上で次第にあります議事運営は全て終わりました。以上をもちまして定例の教育委員会会議を閉会させていただきます。

閉会 午後4時10分
